

平成25年度事業報告書

25年4月1日から26年3月31日まで

特定非営利活動法人 直方川づくりの会

1 事業の成果

当会の活動は、遠賀川地域防災施設（遠賀川水辺館）を拠点に、多世代、広範囲に広がってきている。遠賀川水辺館における来館者数は、20,998名になり、体験学習の参加団体は、小学校や子ども会など130団体を受け入れ、学習ビオトープ春の小川を活用した水生生物調査や、遠賀川でのカヌー体験、釣り体験などを実施した。

また、次世代を担う子ども達の活動拠点として遠賀川水辺館を活用し、当会による活動支援体制や、地域・行政との連携もスムーズになってきている。平成25年度9月は遠賀川水辺館の来場者数が30万人を迎えた。

秋には、遠賀川水辺館前の遠賀川に帰ってきました。元気よく泳ぐ鮭の姿は、私たち活動メンバーの一生の思い出となりました。

●遠賀川地域防災施設（遠賀川水辺館）の運営

- ・施設見学、環境教育、防災学習、体験学習（総合学習の対応）
- ・遠賀川水辺館カヌースクール
- ・水辺の生き物しらべ
- ・遠賀川釣り体験
- ・金曜日誰でもバードウォッチング
- ・遠賀川リバーツーリズム

●次世代の活動支援（地域との連携）

- ・キッズLNC…6歳未満の子ども達と保護者
- ・めだかの学校…小学生を中心に、中学生
- ・YNHC（青少年博物学会）…中学生と高校生
- ・SWEEP・JOC 遠賀川ユースリーダー…大学生
- ・おやじの会

●まちづくり・環境保全の取り組み

- ・壁面緑化や花壇づくり
- ・春の小川まつり（河川清掃）
- ・中之島公園（学習ビオトープ春の小川）の維持管理
- ・直方市環境カレンダーの作成
- ・リバーチャレンジスクール

■遠賀川地域防災施設（遠賀川水辺館）の運営

◆施設見学、体験学習、（総合学習の対応）

市内はもとより近隣の中間や田川、行橋からも多くの小中学生が来館し、様々な体験活動に参加した。また全国各地や、海外からの施設見学も増加している。

◆水辺館カヌースクール

遠賀川水辺館周辺の遠賀川・彦山川を活用してのカヌースクールは、地域の定着しつつあり、直方市外からの参加が多く見られた。また、小学4年生以上の幅広い世代を対象にしているが、大人の参加が多く見られた。今年度から親子カヌーも取り入れている。

◆水辺の生き物しらべ

学習ビオトープ「春の小川」を活かして、水生昆虫や、甲殻類、メダカなどの魚を採集する人気の活動である。小学校の総合学習や、1，2年生生活科、4年生理科などの教科に対応した活動を提供するだけでなく、夏休み向けイベントも好評であった。ビオトープの多様性も増し、多くの生物が見られるようになった。

◆遠賀川釣り体験

デポジット制による釣り具の貸出を、水辺館の開館時に常時行った。遠賀川を身近に感じてもらい取り組みの一つとして、参加費は無料。夏から秋にかけての休日は50本の釣り竿が足らなくなるようなこともあった。

◆金曜日誰でもバードウォッチング

バードウォッチングを目的に来館されたすべての方を対象として幼稚園や学校対応、初心者の方でもわかりやすく楽しく体験できる野鳥観察となった。

◆水辺館リバーツーリズム

遠賀川水辺館を拠点にして、川が育んだ自然や歴史、文化、まちづくりを学んだ。今年度は予算削減のために、ウォーキングや公共共通期間の利用を積極的に行った。防災という視点も取り入れ、神頼みの治水と現在の治水を比較する古今についても学び、地域の減災意識の向上につげることができた。

■次世代の活動支援（地域との連携）

◆キッズLNC

6歳未満の子ども達と、保護者を対象にして、水辺館 周辺の自然を活かした体験活動を行っている。毎月第1木曜日に実施。34組90名の親子が登録。

◆めだかの学校

「だ〜れが生徒か先生か♪」を合い言葉に自然を先生にして、春の小川の生き物と、生態系の係わりについて調べるかえる教室、遠賀川水辺館周辺の野鳥の生態 や生息数を調べる「すずめ教室」、水質やタイコウチ という昆虫に特化して調べる「遠賀川生き物調査隊」 開校した。のべ80名の子ども達が登録。

◆YNHC（青少年博物学会）

中学生と高校生が学校の垣根を越え、情報交換ネットワークづくりや、環境調査やイベントのサポート、定期的な河川清掃に取り組んでいる。また、活動報告書YNHC通信の発行も行っている。この活動の輪が、地域や学校に認知されつつあり、中高生にも浸透してきている。

◆JOC（大学生の災害支援ネットワーク）

九州内の大学生のネットワーク構築を目指し、九州内の水資源利用、治水、自然環境に対する認識を深める。

◆SWEEP（河川。環境ボランティア）

各種イベントのサポートや体験学習の企画。実施等に取り組んでいる。

■まちづくり・環境保全の取り組み

◆壁面緑化や花壇づくり

遠賀川水辺館のゴーヤによる壁面緑化に取り組み、地球温暖化防止への節電に取り組んだ。400本以上のゴーヤが収穫出来たほか、多様な昆虫の生態系も生まれ大変好評であった。

◆春の小川まつり（河川清掃）

遠賀川水辺館周辺と中の島公園の、ゴミ拾いと草取りを毎月最終日曜日に実施した。遠賀川水辺館の周辺はゴミが無くなりつつあるにもかかわらず、少し離れた駐車場には大量のゴミが落ちている状況にある。今後も継続して活動していきたい。

◆中之島公園（学習ビオトープ春の小川）の維持管理

遠賀川水辺館周辺から、春の小川ビオトープがある「中之島公園」における、除草作業および環境整備を行った。除草に於いても、ただの草刈りではなく、絶滅危惧種の植物や、昆虫類の成長に応じた選択除去を行っている。また除草作業は、市民ボランティアを含む多くの人達で行っている。

◆直方市環境カレンダーの作成

直方市の地球温暖化防止対策の一環として、楽しく記録ができる環境家計簿（環境カレンダー）の製作を受託。子ども達が風景や野鳥、水生生物、野草を描いた絵を活かした。

◆リバーチャレンジスクールの開催協力

子ども達に、遠賀川や自然をより身近に体験させるために直方川づくり交流会が中心となって、直方市や国土交通省を巻き込んで、体験活動を実施している。

(法第28条第1項関係様式)

平成25年度事業報告書

25年4月1日から26年 3月31日まで

特定非営利活動法人直方川づくりの会

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
① 環境保全に関する情報の収集及び提供に関する事業	遠賀川防災施設(遠賀川水辺館)管理委託	通年	遠賀川水辺館	のべ1000人	直方市内福岡県内外の幅広い年齢層の住民来者20998人	4608
	遠賀川水辺館利用者の質的満足度向上のための提供行為業務(リバーサイドテラス)	通年	遠賀川水辺館	のべ100人	直方市内福岡県内外の幅広い年齢層の住民	
	遠賀川地域防災施設河川情報提供	2013/4~2014/3	遠賀川水辺館	のべ50人	直方市内福岡県内外の幅広い年齢層の住民のべ500人	
	リバーツーリズム	通年	福岡県内外	のべ30人	直方市内外ののべ100人	
② 環境保全に関する企画・運営事業	春の小川まつり(河川清掃)	通年	遠賀川河川敷	のべ400人	直方市内福岡県内外の幅広い年齢層の住民	419
	花壇再生プロジェクト	通年		のべ200人	直方市内福岡県内外の幅広い年齢層の住民	

③ 環境保全に関する教育の実施に関する事業	水辺館カヌースクール運営	2013/7 ～ 2013/10	遠賀川 水辺館 周辺	のべ 100人	直方市内外 のべ200名	330
	伝統文化（子ども教室）	2013/6 ～ 2014/2	遠賀川 水辺館	のべ 20人		
	キッズLNC めだかの学校 YNHC	通年	遠賀川 水辺館 及び周 辺	のべ 100人		
	遠賀川ユースリーダー		九州市 内	のべ 10人		
④ 環境保全に関する計画の策定に関する事業	直方市環境家計簿作成業務	2013/7 ～ 2013/9	遠賀川 水辺館	のべ 50人	直方市内外 の住民 100家族	249
	その他団体の活動策定支援	通年	福岡県 内	のべ 60人	福岡県内	
⑤⑥国、自治体、他団体が主催する環境保全に関する各種催しへの協力	リバーチャレンジスクール （直方川づくり交流会）	通年	遠賀川 水辺館	のべ 200人	直方市内の 子ども達 200人	1050
	遠賀川流域中高生等活動交流会、ホタル飼育などの活動支援（YNHC）	通年	遠賀川 水辺館	のべ 100人	遠賀川流域 の中高生の べ600人	
	オープンカレッジの活動支援（JOC）	通年	福岡県 内外		九州各地の 大学生	
	その他団体への協力	通年	直方市 内		直方市、福岡 市内外の幅 広い年齢層 の住民	

平成25年度「特定非営利活動に係る事業会計」収支計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

特定非営利活動法人 直方川づくりの会

(単位:円)

科目	金額	備考
I. 経常収入の部		
1 会費収入	16,000	
2 事業収入		
遠賀川水辺館管理業務	2,220,000	
春の小川を活用した河川愛護意識啓発と理解度の関する	2,583,000	
川の防災情報普及促進と理解度に関する調査25年	1,302,000	
川の防災情報普及促進と理解度に関する調査24年	1,333,500	
中之島公園管理業務委託	420,000	
直方市環境家計簿作成業務	180,000	
助成金	1,591,990	
参加費		
受取利息	398	
雑収入		
経常収入合計	9,646,888	
II. 経常支出の部		
1 事業費		
①環境保全に関する情報の収集及び提供	4,608,941	
②環境保全に関する企画・運営	419,760	
③環境保全に関する教育の実施	330,000	
④環境保全に関する計画の策定	249,709	
⑤自治体・他団体の催し物への協力	264,600	
⑥助成事業	786,433	6,659,443
2 管理費		
通信運搬費	154,016	
地代家賃	180,000	
消耗品費	591,501	
備品費	687,278	
賃借料	269,700	
印刷費	226,579	
手数料	1,430	
旅費交通費	123,640	
寄付金	25,000	
研修費	12,720	
雑費	368,355	
保険料	138,790	
所得税	55,338	
市・県・国税金	211,100	
租税公課	4,600	
経常支出合計	9,709,490	
当期収支差額	(62,602)	
前期繰越収支差額	202,810	
次期繰越収支差額	140,208	

平成25年度「特定非営利活動に係る事業会計」貸借対照表

平成26年3月31日現在

特定非営利活動法人 直方川づくりの会

(単位:円)

科目・摘要	金額	
I. 資産の部		
1 流動資産		
現金	43,060	
普通預金	97,148	
未収入金	185,000	
流動資産合計		325,208
2 固定資産		
什器備品		
固定資産合計		0
資産合計		325,208
II. 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金	185,000	
未払金		
流動負債合計		185,000
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		185,000
III. 正味財産の部		
1 前期繰越正味財産		202,810
2 当期正味財産増加額		△ 62,602
正味財産合計		140,208
負債及び正味財産合計		325,208

平成25年度「特定非営利活動に係る事業会計」財産目録

平成26年3月31日現在

特定非営利活動法人 直方川づくりの会

(単位:円)

科目・摘要	金額		
I. 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金手許有高	43,060		
西日本シティ銀行	97,148		
未収入金	185,000		
流動資産合計		325,208	
2 固定資産			
什器備品			
固定資産合計		0	
資産合計			325,208
II. 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	185,000		
未払金			
流動負債合計		185,000	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			185,000
正味財産合計			140,208